

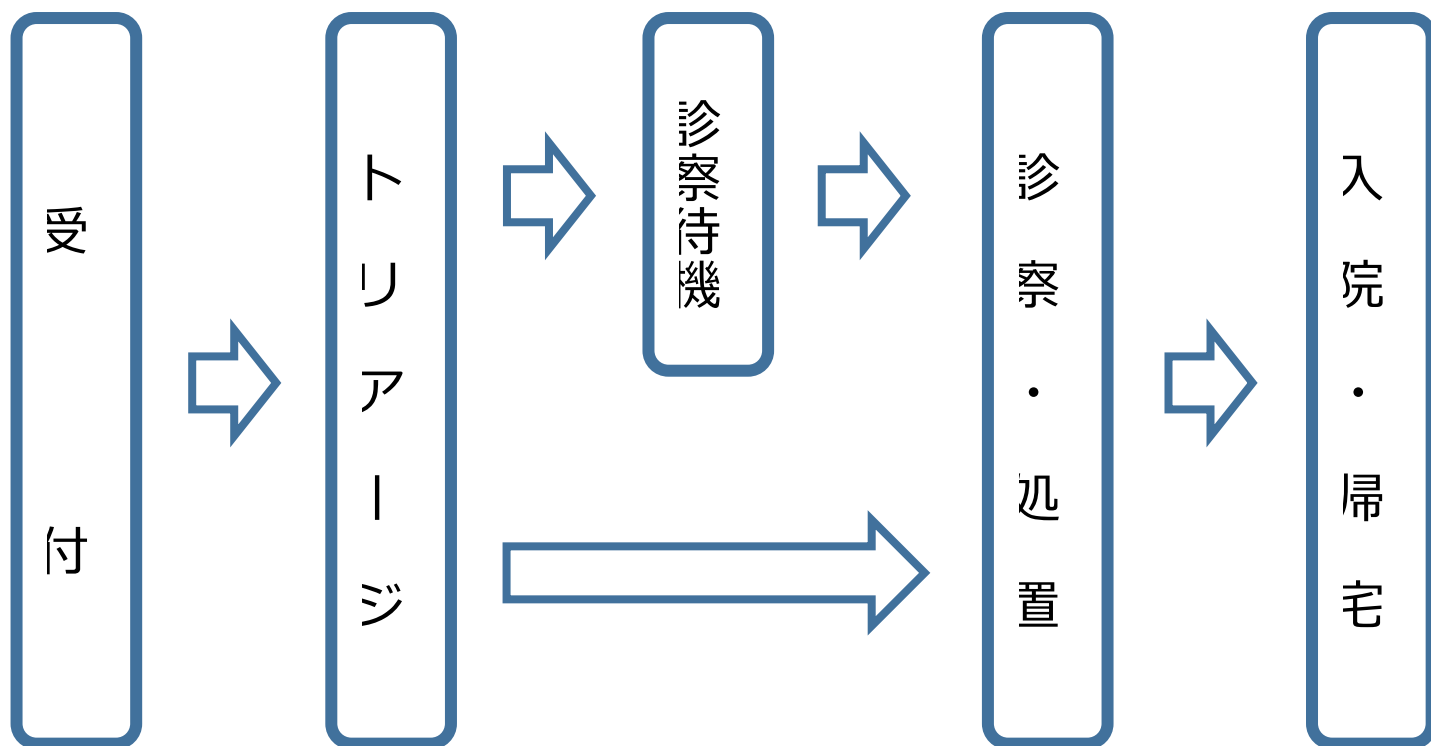
院内トリアージの実施について

当院では、救命救急センターに受診された患者様に対して、院内トリアージを実施しております。患者様の来院後速やかに訓練された看護師が緊急度を判定し、緊急度が高い場合は、優先的に診察を受けていただける体制をとっております。この過程を「トリアージ」と呼び、トリアージによって決定された緊急度に従い、診察の順番が決まります。

このように、救命救急センターでは、受付した順番に診察を受けていただけるとは限りません。緊急度が低い場合は、早く受付をされていても、待ち時間が長くなることがあります。

尚、診察を待っている間に症状の変化があった場合は、お近くのスタッフへすぐに伝えてください。

【救命救急センター受診の流れ】



【院内トリアージの緊急度判定基準（J T A S 緊急判定レベル）】

蘇生	直ちに診察・治療が必要	心停止 重症外傷 けいれん持続 高度な意識障害 重篤な呼吸障害 など	治療の継続
緊急	10分以内に診察が必要	心原性胸痛 激しい頭痛・腹痛 中等度の意識障害 抑うつ、自傷行為 など	15分毎の再評価
準緊急	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧 けいれん後の状態（意識は回復） 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛・腹痛 など	30分毎の再評価
低緊急	1時間以内に診察が必要	尿路感染症 縫合を必要とする創傷（止血済み） など	1時間毎の再評価

青：は最も緊急度が高く、直ちに診察及び治療が必要と判定される

赤：緊急で10分以内に診察が必要なレベルとされ、15分ごとに再評価を行う

黄：準緊急で30分以内に診察が必要なレベルとされ、30分ごとに再評価を行う

緑：低緊急で1時間以内に診察が必要なレベルとされ、1時間ごとに再評価を行う